

金属建屋熱利用・無線データ通信試験



期間 2018.4.13～

テスト内容

- 温度測定 ①屋根表面
②屋根裏空間
③屋根裏表面
④室内空間
⑤ペットボトル水温
白色、黒色建屋 2棟

目的 色（明度）による温度の違いを測定し、熱利用の可能性を検討ためのデータを取得する。
併せて、画像、温湿度、加速度等の遠距離無線データを送信し、現場に行かなくとも会社のPCで確認できるシステムの構築を目指す。

担当 温度測定：クボタ金属（株）
データ無線送信：株式会社Sensor & Network

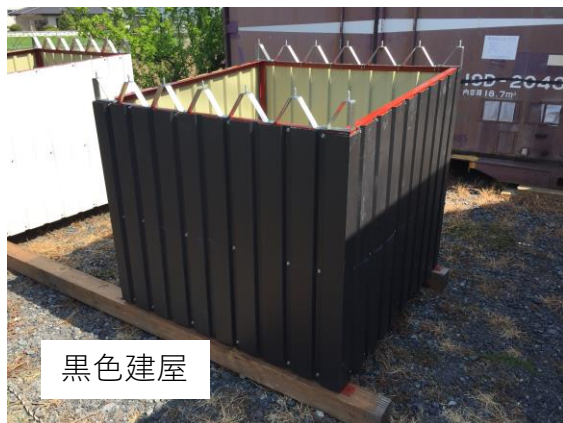


クボタ金属 株式会社

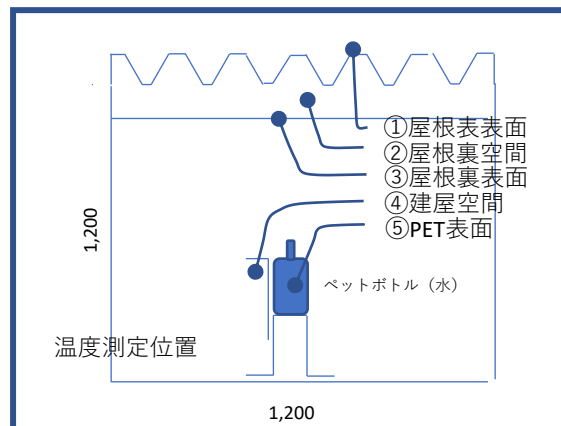


日本防水工法開発協議会

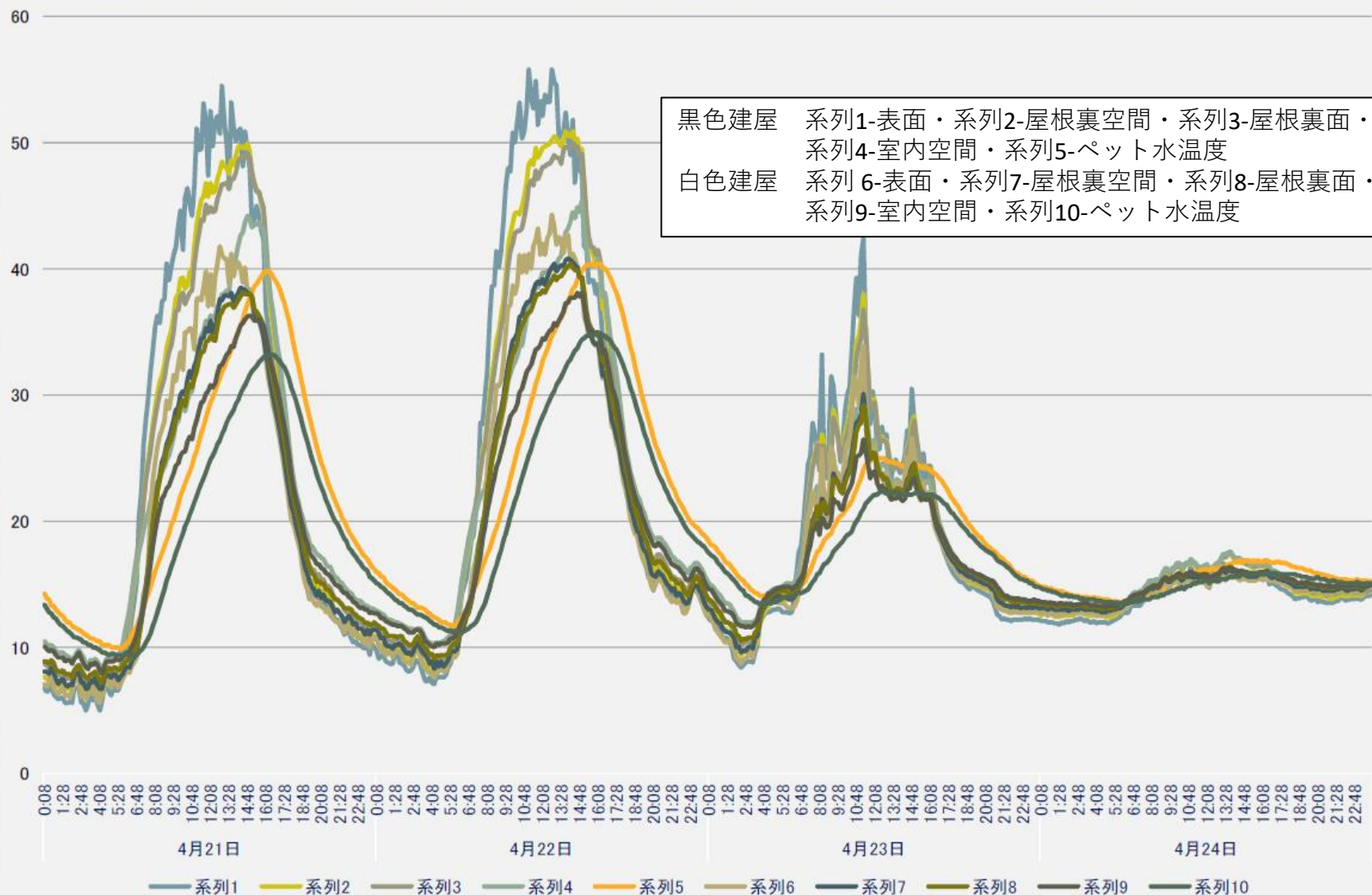
温度測定



温度測定設定



4月21日～24日の折れ線グラフ

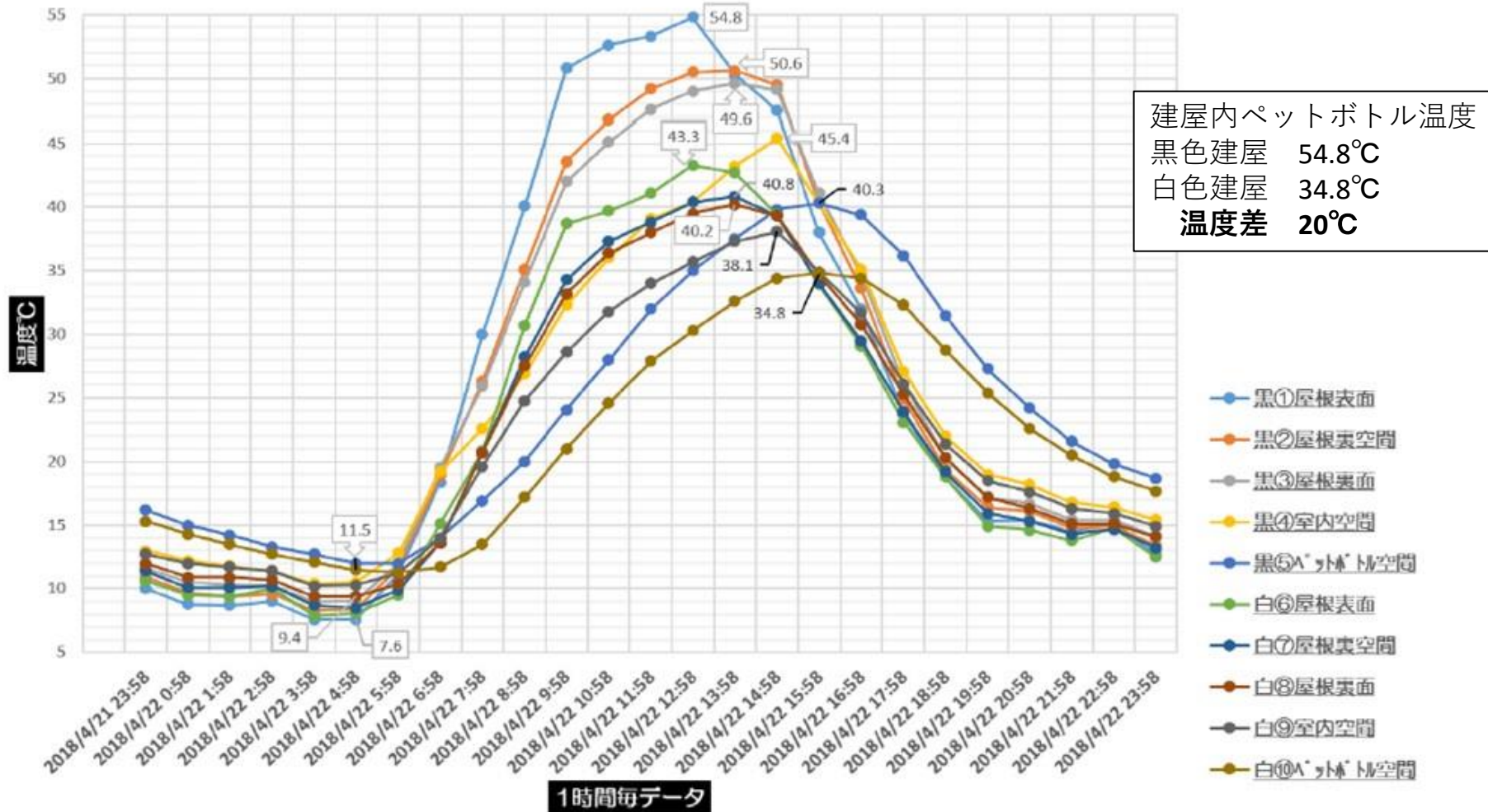


黒色建屋は、白色建屋に比べ、室内ペットボトルの温度が20℃高い

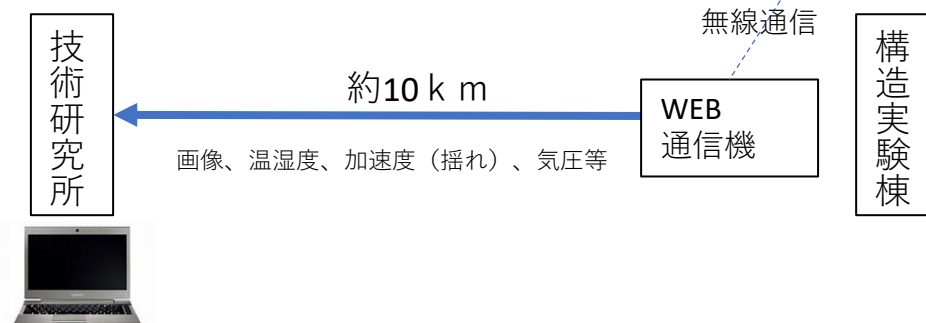
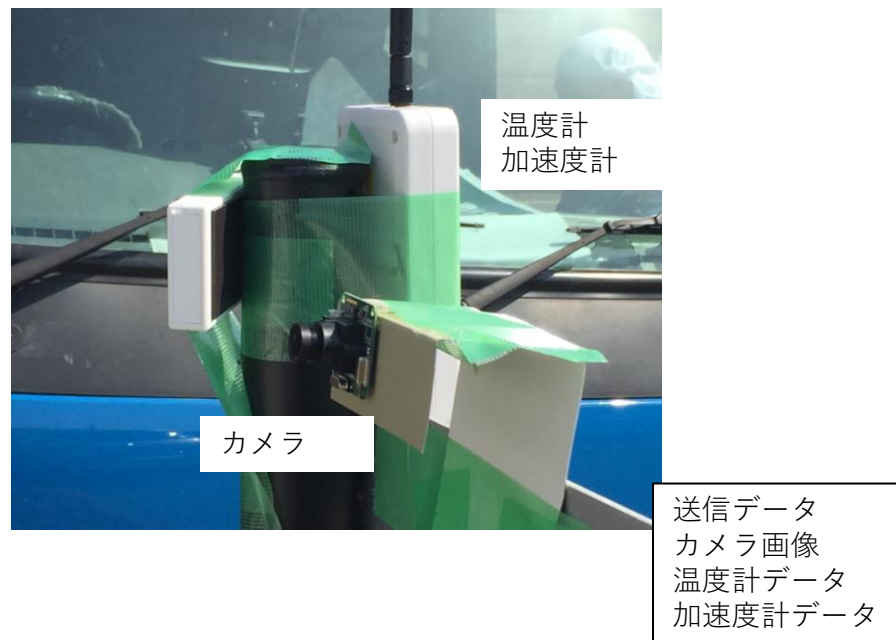
❖ 春季温度測定 ❖

白・黒 明度による温度比較 2018.4.22(日) 1日

1日の1時間毎の全箇所



画像・温度等測定→無線通信試験



*PCからインターネットサイトにアクセスし、データが見れた。ソフトを開発すれば、データを蓄積し、グラフ等が作れる。